

◇ 東北工業大学協定大学派遣留学

(短期派遣留学)に関するアンケート ◇

学科(専攻)・学年・氏名	建築学科 4 年 山田祐翔
学生番号	2031178
派遣国	台湾
派遣期間	10 月 6 日～12 月 6 日

◆該当するところに○を(場合により複数回答も可)、記述欄には書き込んで回答をお願いいたします。

○大学の施設、環境について

留学先大学の環境について	
留学生同士、および現地学生との交流について:	
現地の友人:	☒ 数多くできた ・ できた ・ あまり交流できなかった ・ 交流がなかった
他の国の留学生:	☒ 友人が数多くできた ・ 友人ができた ・ あまり交流できなかった ・ 交流がなかった
具体的にあれば:	
大学の施設・設備について: ※どういった施設・設備が設置されているか(使用可能か)	
図書館:	☒ 自由に使用可能 ・ なし
コンピュータールーム:	自由に使用可能 ・ ☒ なし
食堂:	あり(1食 約 500 円) ・ なし
スポーツ関連施設:	☒ 自由に使用可能(テニスコート・バスケットボール・バレーボール プール・ジム・卓球施設・その他[利用には手続きが必要]) ・ なし
危機管理について	
大学構内・大学周辺の治安状況について: ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。	
治安は悪い ・ 治安は悪いが夜間の外出をしなければ問題ない ・ ☒ 治安は比較的良い	
日本と変わらないと感じた ・ 日本より良い	
注意点およびアドバイスをお願いいたします。	
交通量が多く、歩道がないため、注意が必要	
保険の加入の有無とその内容について:	
大学の旅行会社の保険 ・ クレジットカード会社の保険 ・ ☒ その他 具体的に[たびほ]	

○住居の設備について

住居について
(☐ 寮・ ☐ アパート・ ☐ ホームステイ・ ☐ ホテル)について
キッチン： ☒ あり ・ なし
食事： あり ・ 別途料金を払えばあり (1食 約 円) ・ ☒ なし
バスルーム： ☒ 自由に使用可能 ・ 時間制限あり(時まで 具体的に) ・ なし
備品： バスタオル/タオル あり ☒ なし ・ ドライヤー あり ☒ なし 歯ブラシセット あり ☒ なし
その他：
日本からノートPCの持参の有無
☐ ☒ 持参の方がよい 理由：[大学の PC ルームが使えないから]
☐ 不要 理由：[]

○生活について

費用について
留學生活を通してかかった費用： 200000 円
生活費： 150000 円
※内訳を教えてください。
交通費： 30000 円
食費： 60000 円
お土産代： 30000 円
旅行費用： 30000 円
その他： [寝具等： 1000 円]
留學費用に関して、今後の留學生へのアドバイスをお願いします。
物価は日本とそこまで変わらないけど、夜市があるのでそこで夜ご飯買っても安いです。
生活全般について
日常の買い物の場所： スーパーが近く(徒歩 15 分)にある ・ コンビニが近く(徒歩 2 分)にある 公共交通機関(を利用)すればある
洗濯： コインランドリーが近くにある ・ ☒ 宿舎で洗濯機を利用 ・ 宿舎で手を使って洗濯
周辺地域での病院や薬局の有無： [わからなかった]
滞在した町について： ☐ ☒ 気に入った ☐ まあまあ ☐ あまり気に入らない ☐ 気に入らない
公共交通機関やタクシーの利便性： バス： 大変便利 ・ 便利 ・ ☒ 不便 理由[手を挙げないと止まってくれない]
地下鉄など電車： 大変便利 ・ ☒ 便利 ・ 不便 理由[日本より安い]
タクシー： ☒ 大変便利 ・ 便利 ・ 不便 理由[Uber タクシーがとても安い]
その他： []

日本から持っていくべきもの： ※実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど
温泉入りたいならピチピチの水着→チェックされるから
寒い日もあるから長袖、長ズボン

○授業について

授業全般について	
留学生用の語学の授業： 有 ・ ☒ 無	語学のプレースメントテスト： 有 ・ ☒ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？あった場合、どのように解決しましたか？	
困ったこと： あり ・ ☒ なし	
解決方法： 担任に相談 ・ 研究室の教員に相談 ・ 国際交流担当職員に相談 友人に相談 ・ その他、具体的に[]	
本学との授業・学習と比べてください： 学習量：多い ・ やや多い ・ ☒ やや少ない ・ 少ない 授業のレベル：高い ・ やや高い ・ ☒ 変わらない ・ やや低い ・ 低い 授業の形式：講義形式が多い ・ ☒ ゼミ形式が多い 成績評価方法：テスト ・ ☒ ゼミでの活動 その他、具体的にあれば記入してください []	
クラブや課外活動について： ※参加の有無、内容など クラブに参加 ・ ☒ 不参加 具体的に[]	
休暇中の過ごし方について： ☒ 現地の友人と過ごす ・ 日本の友人と過ごす ・ 一人で過ごす 具体的には：課題演習 ・ スポーツ ・ 飲み会 ・ その他(具体的に)	

○改善点・要望等

改善点・要望等があれば、自由にご記入ください。

～ ご協力ありがとうございました ～

留学報告書:

短期派遣留学(2023/10/6-2023/12/6)

学科 建築 学年 4 学生番号 2031178

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
10 月 6 日 (金)	現地到着
10 月 12 日 (木)	卒業設計テーマ発表
10 月 19 日 (木)	大溪旅行
10 月 27 日 (金)	ゼミ
11 月 3 日 (金)	ゼミ
11 月 9 日 (木)	ゼミ
11 月 16 日 (木)	中間発表
11 月 23 日 (木)	九份旅行
11 月 29 日 (水)	高雄
12 月 5 日 (火)	台南
月 日 ()	
12 月 6 日 (水)	日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

私は 10 月から 2 ヶ月間、台湾に留学しました。その留学を通じて、台湾の文化や考え方の違いなど、日本では経験することのできない様々な物事に触れることができました。

第一の目的である卒業設計のエスキスについては、もう少し頑張れたのではないかと感じます。言語については、中原大学でお世話になっていた曾先生が日本語を話すことができたため、日本語で行いました。私が行う卒業設計のテーマと敷地を説明するところから始まり、日本と台湾と都市計画・まちづくりの違いなどを教えていただきました。興味深かったのは、台湾の人は各々の土地を所有したいと考えているらしく、自らお店を開いていることや、その上に集合住宅が積層されることで一定の売上が確保されるということです。台湾の事例なども教えていただきました。問題点としては、基本的な日本語は通じるが、日本語特有の言い回しが伝わらなかったのも、その部分の英語であったり中国語であったり、違う説明の仕方ができるとより深く理解してもらえたと思う。

中間発表では、視点の狭さを指摘していただき、広域で見ることによって敷地の特徴を捉え直すことができました。近くに緑が生い茂る山のようなものがあったり、道路を挟んで反対側には田んぼや畑が広がっていたり、設計のヒントとなりうるものに気づくことができました。他の同級生の発表も刺激されるものがありました。歩行空間や動くものと動かないものの関係など、より生活に近い疑問を建築的に解決するというテーマが多かったように思います。とても興味深かったです。

台湾は有名な建築物であったり、日本統治時代に作られた町並みであったり、様々なデザインを目にする機会がありました。台北、台中、台南、高雄などの大きな都市では伊東豊雄や坂茂などが手がけた建築物、大溪、九份などの都市では跡地やリノベーションなど、街ごとに特徴がはっきりしていました。日本ではあまり見ることもできないタイプの建築が多く、目に映る景色がとても新鮮でした。

言語学習にもっと力を入れるべきであったと感じました。英語に関しては、小学校の高学年あたりから授業があり、高校受験や大学受験の科目であったこと、さらには院試で TOEIC も受けていたため、不得意というわけではなく、日常会話レベルの英語力はあると思っていました。しかし、実際に話してみると、相手の話す速度が速くて聞き取れなかったり、自分が言いたいことを言うのに時間がかかってしまったりしていました。文法を守ろうと頭の中で考えて発言することが多かったのも、なんとか会話はできるものの、スラスラと会話が続かないため、たくさん悔しい思いをしました。中元大学の外国語応用学科の人と友達になり、今日の出来事を英語で話すなど、英語を使う機会を積極的に活用しました。自分では話せるようになった感覚はなかったのですが、友達にはすごく良くなったよ、と言われました。だが、満足はしていないのでこれからも励みたいです。

また、中国語に関しては全く未知な部分であったので、生活するのに特に必要な単語を中心に覚えていきました。「皆さん、こんにちわ」などの挨拶や「美味しい」、「これが欲しいです」、「お持ち帰り」などの中国語を友達に教えてもらいました。母音や子音の

発音を YouTube で確認し、アプリを使って文法を学習していきました。日常会話レベルまでは全然到達することはできませんでしたが、最後の方は、一人で遠くに旅行に行き、店内でご飯を食べることができました。現地の人とコミュニケーションをとることができて、言葉が伝わることの嬉しさを感じました。言語は人と人を繋ぎ合わせる大切なツールであり、日本にいても英語、中国語ともに使う機会はあると思うので、これを機に学習を積み重ねていきたいです。

タイ、インドネシア、韓国、中国、ドイツなどのたくさんの交換留学生と交流することができました。コミュニケーションの中で、日本のことだったり、相手の国のことだったり話すことがありました。戦争で日本に支配されていて、その影響を受けていることや、中国と台湾では簡体と繁体があり、使われている漢字が異なるなど、自分が知らないことがたくさんあり、もっと諸外国のことや日本との関係を知っておくべきであると感じた。

今回は 2 ヶ月という短期の留学であり、卒業設計を行いながらであったため、台湾の全土を回ることができなかった。それに加えて、正規の留学生はほとんどが 1 セメスター (4 ヶ月) であり 9 月スタート、私たちは 10 月スタートとタイミングもずれていたため、少し異なる扱いで、交換留学生のみんながいく旅行に行くことができなかった。文化祭のようなものにも参加できなかったのも心残りである。2 ヶ月だと少し長いお泊まりの延長のようなものであるため、帰りを意識してしまったり、長期休みにみんなと遠出したりできなかった。もっと長い期間留学に行き、他国の文化や言語を体験するとともに、人として成長できるようになりたい。

留学に行く前はあまり苦労しないと思っていたが、言葉が通じないことや文化の違いなどが大きな障害となり、いろんな人に話しかけて助けてもらった。また、中原大学で学ぶ日本人たちは私の考えよりも深く物事を捉えていて、自分の考えていた世界が狭いことに気付かされた。この経験を胸に刻み、広い視野で物事を捉え、他国の文化や言語を学び続け、日本だけではなく、いつか海外で仕事ができるようになりたい。